

**4K 放送用カメラ対応ポータブルズームレンズ 3 機種を発売
「UHDgc」シリーズとして高い機動性と運用性を実現**

キヤノンは、2/3 型センサー搭載の 4K 放送用カメラに対応するポータブルズームレンズの新製品として「CJ24e×7.5B」、「CJ14e×4.3B」、「CJ18e×7.6B」の 3 機種^{*1}を 2018 年 6 月下旬より順次発売します。



CJ24e×7.5B
(倍率 24 倍/焦点距離 7.5~180mm)



CJ14e×4.3B
(倍率 14 倍/焦点距離 4.3~60mm)



CJ18e×7.6B
(倍率 18 倍/焦点距離 7.6~137mm)

新製品 3 機種は、光学性能を重視した従来の「UHDxs」^{*2}シリーズに加えて新たに展開する「UHDgc」シリーズの製品で、高い機動性と HD 放送用カメラ対応ポータブルズームレンズと同じ運用性を実現することを重視しています。4K に対応する光学性能を持ちながら、小型・軽量の筐体（きょうたい）を実現し、ドキュメンタリーや各種イベント撮影などの映像制作や、報道などにおけるさまざまなニーズに応えます。

■ 4K 放送用カメラに対応するポータブルズームレンズ

蛍石や UD^{*3} ガラスを採用するとともに、それらを最適配置する独自の光学設計技術を用いることで、ズーム全域で 4K 光学性能を達成しています。また、ITU-R BT.2020^{*4}の色域対応により、色収差を良好に補正し、高品位な映像撮影に貢献します。

■ HD 放送用カメラ対応ポータブルズームレンズ同等の高い機動性と運用性

4K 光学性能を実現しながら HD 放送用カメラ対応レンズと同等^{*5}の小型・軽量の筐体を実現することで、高い機動性を確保するとともに、撮影に伴うユーザーの負担を軽減します。さらに、HD 放送用カメラ対応ポータブルズームレンズと同等の運用性と操作性を実現しています。

製品名 ^{*1}	希望小売価格	発売日	生産台数
CJ24e×7.5B (IASE S)	オープン価格	2018 年 6 月下旬	全機種合計 95 台/月
CJ24e×7.5B (IRSE S)			
CJ14e×4.3B (IASE S)		2018 年 8 月下旬	
CJ14e×4.3B (IRSE S)			
CJ18e×7.6B (IASE S)		2018 年 11 月下旬	
CJ18e×7.6B (IRSE S)			

※1 3 機種それぞれに、フォーカスモーター内蔵タイプ (IASE S) とマニュアルフォーカスタイプ (IRSE S) があります。
 ※2 「CJ12e×4.3B」(2016 年 2 月発売) や「CJ20e×7.8B」(2016 年 6 月発売) などが含まれます。
 ※3 Ultra Low Dispersion Lens=特殊低分散ガラス。
 ※4 ITU (国際電気通信連合) 提唱の次世代放送規格。
 ※5 各機種の外形寸法は P.3 以降の製品仕様をご参照ください。

- 報道関係者のお問い合わせ先 : キヤノン株式会社 広報部 広報課 03-3757-9949 (直通)
- 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンマーケティングジャパン株式会社 03-3740-3304 (直通)
: イメージングソリューション営業部
- 報道関係者用ホームページ : e-pr.canon.jp ● 放送・業務用映像機器ホームページ : canon.jp/bctv

<主な特長（全機種共通）>

1. 4K 放送用カメラに対応するポータブルズームレンズ

- ・2/3 型センサー搭載の 4K 放送用カメラ対応のポータブルズームレンズとして、“CJ24e×7.5B”は望遠撮影に好適な倍率 24 倍、焦点距離 7.5～180mm、“CJ14e×4.3B”は広角撮影に好適な倍率 14 倍、焦点距離 4.3～60mm、“CJ18e×7.6B”は標準撮影に好適な倍率 18 倍、焦点距離 7.6～137mm を実現。ユーザーの撮影用途に応じてレンズを選択可能。
- ・蛍石や UD ガラスを採用するとともに、それらを最適配置する独自の光学設計技術を用いることで、ズーム全域で 4K 光学性能を達成。
- ・色にじみや輪郭の色づきを抑制し、画面の隅々まで優れた色再現性を実現。
- ・レンズのコーティング技術や、鏡筒内面の反射を防ぐ設計により、ゴーストやフレアの発生を抑制。階調表現に優れたハイダイナミックレンジの映像撮影にも好適。
- ・ITU-R BT.2020 の色域対応により、カメラで撮影された ITU-R BT.2020 色域の映像の色収差を高精度に補正できるため、より高画質な映像撮影に貢献。



2. HD 放送用カメラ対応ポータブルズームレンズ同等の高い機動性と運用性

- ・4K 光学性能を実現しながら HD 放送用カメラ対応ポータブルズームレンズと同等の小型・軽量の筐体（きょうたい）を実現することで、高い機動性を確保するとともに、撮影に伴うユーザーの負担を軽減。
- ・HD 放送用カメラ対応ポータブルズームレンズと同等の運用性と操作性を実現。

3. 高い操作性を実現する高機能デジタルドライブユニット

- ・「UHDxs」シリーズにも搭載されている高分解能 16bit 絶対値エンコーダーを採用した高機能デジタルドライブユニットの搭載により、ユーザーの操作意図を忠実に再現する高い制御性能を実現。さらに、高精度な位置検出が可能のため、実際の映像とバーチャル映像を合わせる際に容易にキャリブレーションが可能。
- ・絶対値エンコーダーの採用により、ドライブユニットに電源が供給された際に、初期化の動作をせずに、カメラ側の色収差補正機能や位置検出、ビューファインダー上の位置表示が可能。
- ・20PIN 端子を 3 か所に備えることで、ズーム／フォーカスコントローラー（ともに別売り）の両方を使用した場合でも、バーチャルシステム用信号出力端子を確保することが可能。
- ・ドライブユニット上に情報ディスプレイを搭載しているため、各種機能の容易な設定、調整、操作が可能。

<ご参考>

2018年4月9日(月)から12日(木)まで米国ラスベガスで開催される放送・映像制作機器の展示会「NAB Show 2018」のキヤノンブースにおいて、“CJ24e×7.5B”、“CJ14e×4.3B”、“CJ18e×7.6B”を展示予定です。

<放送用レンズの市場動向>

日本や欧米諸国では、デジタルテレビ放送の普及に伴う放送機器のHD化がほぼ完了し、近年では、4K放送実用化に向けた取り組みが始まるとともに、4K対応機材の導入が進行しつつあります。一方、新興国では、今後デジタル放送への完全移行が予定されている国も多くあり、HDTV放送用機材の需要も継続して見込まれるとともに、4K放送への関心も高まっています。(キヤノン調べ)

<CJ24e×7.5Bの主な製品仕様>

型名	CJ24e×7.5B IASE S/IRSE S
対応カメラ	2/3型4Kカメラ/2/3型HDカメラ
ズーム比	24倍
最至近撮影距離	0.8m
外形寸法(幅×高さ×長さ)	約164.6×109.1×221.4mm
質量(本体のみ)	約1.82kg *IRSE Sの場合

エクステンダー	通常時	2倍エクステンダー使用時
焦点距離	7.5~180mm	15~360mm
画角	広角端	65.2° × 39.6° (7.5mm)
	望遠端	3.1° × 1.7° (180mm)
最大口径比	広角端	1 : 1.8 (7.5~120mm)
	望遠端	1 : 2.7 (180mm)
最近接時の撮影範囲	広角端	96×54cm (7.5mm)
	望遠端	4.1×2.3cm (180mm)

<CJ14e×4.3Bの主な製品仕様>

型名	CJ14e×4.3B IASE S/IRSE S
対応カメラ	2/3 型 4K カメラ/2/3 型 HD カメラ
ズーム比	14 倍
最至近撮影距離	0.30m
外形寸法（幅×高さ×長さ）	約 163.5×108×247.8mm
質量（本体のみ）	約 2.11kg *IRSE S の場合

エクステンダー		通常時	2 倍エクステンダー使用時
焦点距離		4.3～60mm	8.6～120mm
画角	広角端	96.3° × 64.2° (4.3mm)	58.3° × 34.9° (8.6mm)
	望遠端	9.1° × 5.2° (60mm)	4.6° × 2.6° (120mm)
最大口径比	広角端	1 : 1.8 (4.3～40mm)	1 : 3.6 (8.6～80mm)
	望遠端	1 : 2.7 (60mm)	1 : 5.4 (120mm)
最近接時の撮影範囲	広角端	76.4×43cm (4.3mm)	38.2×21.5cm (8.6mm)
	望遠端	5.2×2.9cm (60mm)	2.6×1.5cm (120mm)

<CJ18e×7.6Bの主な製品仕様>

型名	CJ18e×7.6B IASE S/IRSE S
対応カメラ	2/3 型 4K カメラ/2/3 型 HD カメラ
ズーム比	18 倍
最至近撮影距離	0.56m
外形寸法（幅×高さ×長さ）	約 160.5×105×206.2mm
質量（本体のみ）	約 1.65kg *IRSE S の場合

エクステンダー		通常時	2 倍エクステンダー使用時
焦点距離		7.6～137mm	15.2～274mm
画角	広角端	64.6° × 39.1° (7.6mm)	35.1° × 20.1° (15.2mm)
	望遠端	4.0° × 2.3° (137mm)	2.0° × 1.1° (274mm)
最大口径比	広角端	1 : 1.8 (7.6～103mm)	1 : 3.6 (15.2～206mm)
	望遠端	1 : 2.4 (137mm)	1 : 4.8 (274mm)
最近接時の撮影範囲	広角端	65.5×36.8cm (7.6mm)	32.8×18.4cm (15.2mm)
	望遠端	3.8×2.1cm (137mm)	1.9×1.1cm (274mm)